


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	お金の学習		
	単元(題材)の目標	・校外学習に向けて、金種と金額を確認しよう		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	2、3 年 4 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	・1円玉、10円玉単体の合計金額が分かる。 ・複数の硬貨を合わせた金額の計算はあいまいである。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、プロジェクター		
	使用したアプリケーションの名称	お金の学習		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	・画面上で硬貨を操作しながら楽しく学習する。		
活用の状況と支援	○活用場面 ・数学（お金） ○行った支援 ・事前に足し算のプリントなどで、数の概念を学習したり、硬貨の金額を確認したりした。 ○生徒の様子・変容 ・アプリでは、答え合わせで効果音が出て楽しみながら取り組めたり、自分のペースで進められたり、自分のレベルにあった問題を選べるため、集中して取り組んでいた。 ・1円玉の合計金額であればスムーズにできるが、10円玉が10枚などになると10ずつ増えていく概念など（10、20、30・・・ 100、200、300・・・）の学習も必要であった。			